

# 令和7年度 学校評価（目標設定）

| 視点                | 4年間の目標<br>(令和6年度策定)  | 1年間の目標  | 取組の内容   |  |
|-------------------|--|---|---|--|
|                   |  |   | 具体的な方策  | 評価の観点  |
| 1<br>教育課程<br>学習指導 | 児童・生徒の「生きる力」を育むために、資質・能力の三つの柱に基づく12年間を見通した系統的、発展的な指導内容を具体的に組織、配列し、特色ある教育活動を展開する。 | <p>①基礎的基本な学習を充実させるとともに、より発展的な学習へとつながる場面や環境設定を図る。</p> <p>②個別教育計画作成に係る話し合いのプロセスを重視し、具体的、客観的に目標や支援の方法等を検討する。</p>                           | <p>①各学部がシラバス等を活用し、児童・生徒が各教科等で身に付けた力を地域の方との関わりの中で発揮できる場面を検討する。</p> <p>②有識者の視点を加えながら、児童生徒の人や物とのかかわりをより具体的・客観的にチームで共有するための読み合わせを行う。</p>  | <p>①各教科等で身に付けた力を社会や日常の場面で発揮できるよう、校外学習等の指導・支援に保護者や地域と協働で取り組むことができたか。</p> <p>②チームによる話し合いのプロセスの中で、学習上、生活上の支援の工夫や、興味・関心を引き出す教材研究につなげられたか。</p>                        |
| 2<br>児童・生徒指導・支援   | 児童・生徒が自己を肯定的に受け止め「互いを尊重する心」を育むために、児童・生徒が抱える課題や困難をチームで確実に把握し、必要な支援の充実や授業改善の推進を図る。 | <p>①本人・保護者が社会との関わりを持ち続ける支援の充実を図る。</p> <p>②児童・生徒自身が「考える力」「学ぶ力」を身に付けるための教材研究を推進する。</p>  | <p>①関係機関（SSW等）との連携を図り、児童・生徒の家庭環境や愛着形成などの実態を踏まえたチームによる支援を講じる。</p> <p>②ICT機器を活用し、集団の中で個に対応を合わせる等、コミュニケーションや情報活用能力を実生活や授業場面に生かす授業改善をすすめる。</p>                                    | <p>①本人・保護者を社会とつなぐために必要な関係機関との役割や支援の方法を整理できたか。</p> <p>②児童・生徒が各教科等の中で、コミュニケーションや情報活用能力を生かし、仲間とのかかわりの中で、学ぶ姿が見られたか。</p>  |
| 3<br>進路指導・支援      | 地域の中で豊かに暮らし、働くことにつながる教育活動を展開するために、地域の関係機関との連携・協働の充実を図る。                          | <p>①学びを地域での生活に生かそうとする児童・生徒の姿につなげる。</p> <p>②職業選択支援のサービス開始を見据え、進路先・見学先の充実を図る。</p>   | <p>①高等部卒業後につながる通学支援など、各学部が通学支援班や地域連携班と連携し、身に付けた力の活用を図る場面を設定する。</p> <p>②座談会等で保護者や事業所の方の声を拾い上げ、担任と共有する。事業所協会等との連携を図る。</p>   | <p>①児童・生徒の発達の理解や得意を伸ばす支援の手立て等を地域の方々と共有し、通学支援等を行えたか。</p> <p>②関係機関との連携を図り、進路先・見学先の充実を図る等、自己選択・決定のための支援を充実させたか。</p>   |
| 4<br>地域等との協働      | 地域の関係機関が積極的に学校運営に参画し、創造的な教育活動を展開するとともに、児童・生徒が地域の小・中学校等で安心して学べる教育環境を構築する。         | <p>①地域や企業の方々とともに児童・生徒を育てている、という思いを持つ教育活動を実践する。</p> <p>②全教職員が、センター的機能に携わる共通認識を持ち、地域の学校の特別支援教育に係る校内支援体制の充実を図る。</p>                        | <p>①児童・生徒が役に立ち、必要とされたときの喜びや自信につながる姿を地域の方々と共有し、ともに教育活動を企画する。</p> <p>②改定した教育相談活用ガイド等を用いて、児童・生徒の実態把握や見立てる視点を共有する。</p> <p>地域の学校の校内支援体制構築について、市町教育委員会とともに検討を進める。</p>               | <p>①児童・生徒を知ってもらう活動や協働する場面を整理し、地域や企業の方々と一緒に活動を創造する取組につなげられたか。</p> <p>②実態把握や見立てる視点を児童・生徒が地域で学ぶ際に生かすことができたか。</p> <p>地域の学校や市町教育委員会の意見を反映して、校内支援体制の構築に取り組めたか。</p>     |
| 5<br>学校管理<br>学校運営 | 児童・生徒が安全に安心して学べるよう、専門性向上に向けた人材育成を充実させ、持続可能な教育環境の構築を図る。                           | <p>①「持続性」「共有」をキーワードに、チームでアセスメントや客観的なデータの収集に当たる。</p> <p>②児童・生徒の安全や主体的な学びにつながる視点でより実態に合った学習環境の改善について検討する。</p> <p>③地域で支え育っていく協働の充実を図る。</p> | <p>①小中高等部を設置する強みを生かし、授業やケース会などで自由度のある話し合いを進める。</p> <p>②教室配置プロジェクトを中心に、児童・生徒の様子や意見を取り入れながら、生徒主体の活動につながる学習環境の改善にあたる。</p> <p>③地域の防災イベントや訓練等から、防災教育等に関する地域の方々の考えを聞き、協働の充実を図る。</p> | <p>①教員同士が認め合い、支え合い、互いの得意をのばすことを大切に取り組むことができたか。</p> <p>②児童・生徒主体の活動につながる学習環境の改善を進めることができたか。</p> <p>③防災教育等の現状や課題を地域の方々と共有し、地域防災に関する意見を反映しながら協働の仕組みにつなげることができたか。</p> |

